

2019 年度実施概要

学校名

福島県南会津郡只見町立明和小学校

採択活動名

大好き只見町！進め明和っ子探検隊

取り組みの概要

今年度は、本校における研究テーマを「郷土への誇りと愛情を育み、広い視野を持ってその未来に貢献できる児童の育成 ～E S Dを基盤とした海洋教育の推進～」とし、主に生活科及び総合的な学習の時間において、海洋教育の視点を取り入れることで、さらなる地域理解を図っていくこととした。

低学年では、明和地区を深く見つめる活動を取り入れることにより、自分たちの住む地域のよさに触れ、実際に感じることで、地域を見つめる素地を培っていくこととした。それを基に3年生では、学びのフィールドを只見町全体に広げ、地域学習をより深めていくことにした。改めて地域の「ひと・もの・こと」のよさに気付き、「雄大な自然」、「地域に伝わる伝統」、そして「町民のやさしさや温かさ、また伝統を守ろう、つなげようとする情熱等」にふれることで、自分たちの町に対する誇りをもつことにつながっていった。4年生では、それらの「ひと・もの・こと」から只見町の豊かな自然、とりわけ国立公園である尾瀬から流れてくる「川の水」に着目して学習を進めることで、きれいで豊かな水の要因、それが海へとつながっていくこと、また、それを守ることの意義を考えることで、自分たちの地域（只見町）だけではなく、より広い視野から自分たちの町を見つめることができた。5年生においては、只見町と新潟県三条市とのつながり、また、近い将来開通する「八十里越（国道289号線）」の工事状況を視察することで、只見町の将来と海とのつながりの意識を築いたり、農業体験から只見町の名産に関心をもたせ、只見町のよさを軸とした他地域とのつながりの素地をもたせたりしていった。そして、6年生では、地域学習のまとめとして、海の視点、他地域とのつながりの視点、只見町の現状を見つめた視点等から、只見町の将来の理想像を考え、それを地域の方にとどまらず、地域外の方等広く発信することができた。

すべての学年において系統をもった学びを位置付け、広い視野をもってどの学年も、学びを進めていったことにより、より地域への誇りと愛情を育むことにつながることができた有意義な研究となった。

活動中の写真



< 尾瀬遠足 >



< 4年生水質調査 >



< 6年生海洋サミットでの発表 >

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 尾瀬遠足
2. 川の水をたどって
3. 只見町の未来を考えよう